

標 題： Inhibition of Peroxynitrite Dependent DNA Base Modification and Tyrosine Nitration by the Extra Virgin Olive Oil-derived Antioxidant Hydroxytyrosol
イクスタバ[®]-ジンオリーブ油由来抗酸化物質ヒドロキシチロソールによる
ペルオキシ亜硝酸依存性 DNA 塩基修飾およびチロシンニトロ化の抑制

著 者： M. Deiana, et al. (イタリア カリアリ大学)

掲 載 誌： Free Radical Biol. Med. 26: 762-769 (1999)

要 旨： ヒドロキシチロソールはイクスタバ[®]-ジンオリーブ油中の o-ジフェノール化合物で強力な抗酸化物質と示唆される。

スーパーオキシドラジカル(O₂^{*-})および一酸化窒素(NO^{*})非常に速く反応してペルオキシ亜硝酸(ONOO^{*})を作ることができ、これは反応性の組織損傷物であり複数慢性疾患の原因と関連すると考えられる。

ヒドロキシチロソールは、チロシンのペルオキシ亜硝酸依存性ニトロ化および in vitro でのペルオキシ亜硝酸による DNA 損傷報告を強く保護する。

イクスタバ[®]-ジンオリーブ油は多くの人によって毎日摂取されているので、食事由来のヒドロキシチロソールが in vivo で酸化剤による損傷に対して保護を提供すると考えられる。

ヒドロキシチロソールの in vivo における生物活性は、その摂取、吸収および細胞内区分への接近に依存するだろう。

キーワード： ヒドロキシチロソール、ペルオキシ亜硝酸、ニトロチロシン、酸化的 DNA 損傷、フリーラジカル、イクスタバ[®]-ジンオリーブ油
